

2022年3月期 第2四半期

決算説明会

JKホールディングス(株) (9896)

代表取締役社長 青木 慶一郎



2021年11月29日



JK Holdings Co.,Ltd.

エグゼクティブサマリー

2022年3月期 第2四半期

業績

売上高 1,778 億円 前年同期比 8.4%増 ↑

・売上高は1,778億5百万円（前年同期比8.4%増）であり、今期から導入している収益認識会計基準の影響を考慮すると、1,842億61百万円（同12.3%増）と2桁の増収となっています。

経常利益 61 億円 前年同期比 205.0%増 ↑

・(株)キーテック山梨合板工場が順調に稼働率を上げていることや、量質両面にわたる仕入・販売のきめ細かいコントロールにより合板等素材商品を主体にグループ全体の粗利益率が向上しました。

親会社株主に帰属する
四半期純利益 42 億円 前年同期比 259.5%増 ↑

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

通期計画

売上計画 3,600 億円 計画進捗 49.4%

経常利益計画 90 億円 計画進捗 68.0%

親会社株主に帰属する
当期純利益計画 60 億円 計画進捗 70.3%

配当

2021年3月期
実績

2022年3月期
(予想)

中間配当	9 円	➡	15 円
期末配当	10 円	➡	15 円 (予想)
年間配当	19 円	➡	30 円 (予想)

※2021/11/1に業績予想の上方修正および配当予想の修正（増配）を開示いたしました。

業界及び同業他社について

5 ページ

JKホールディングス(株)について

11ページ

2022年3月期 第2四半期決算概要

15ページ

中長期経営計画について

21ページ

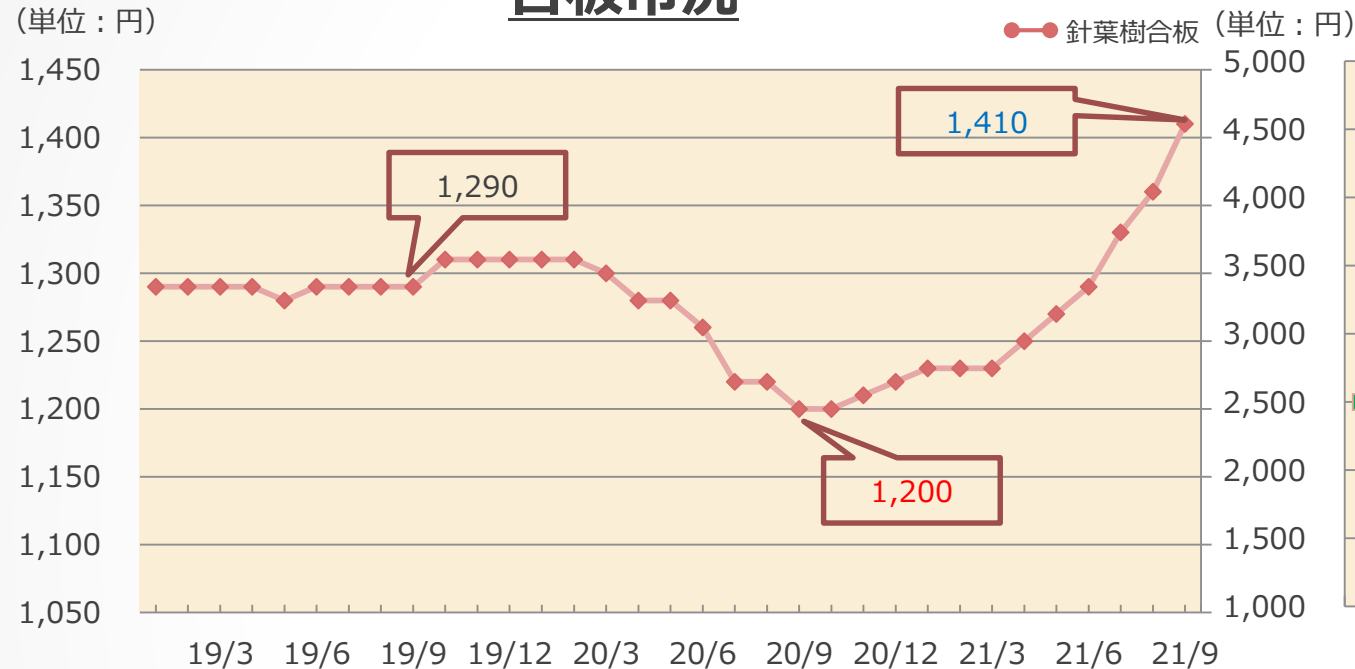
補足資料

35ページ

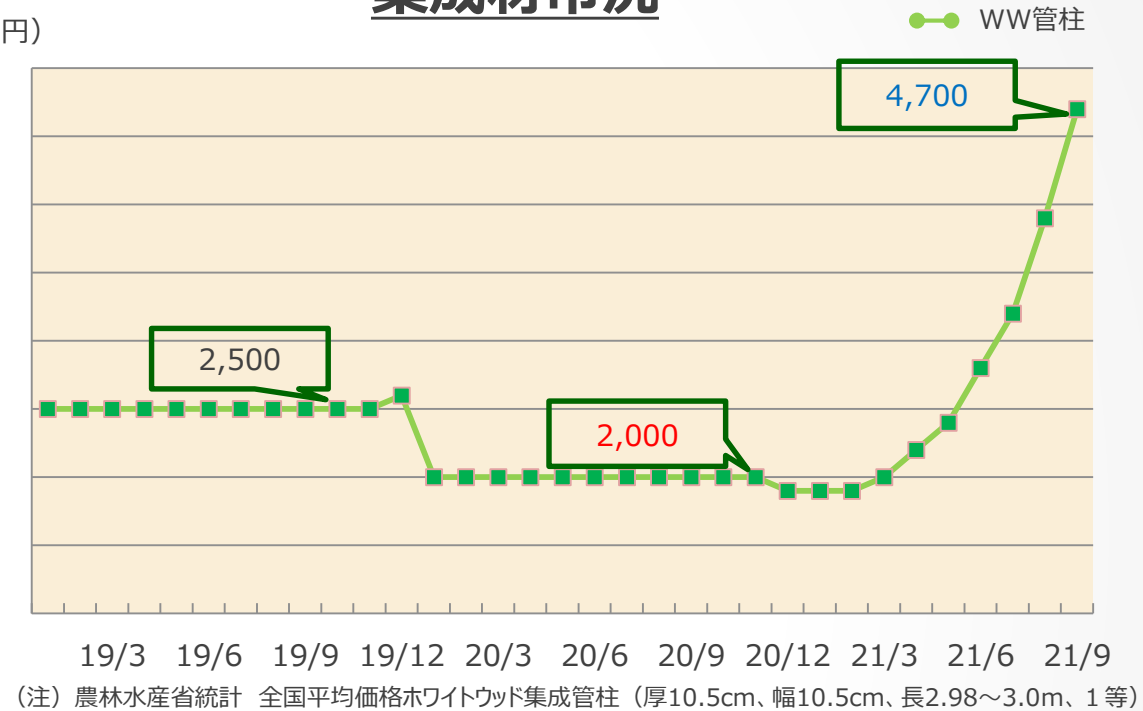
業界および同業他社について

(1) 事業環境 – 合板・集成材市況と為替レート推移

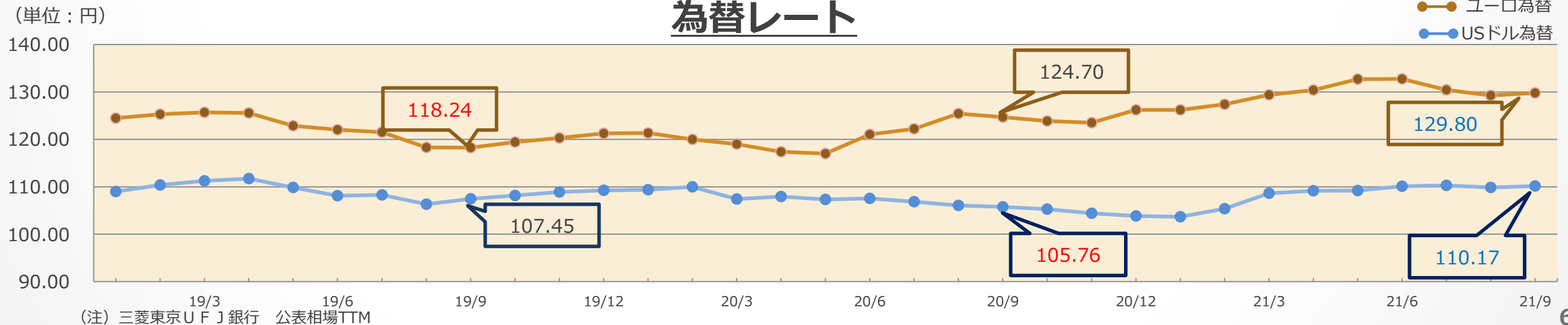
合板市況



集成材市況



為替レート



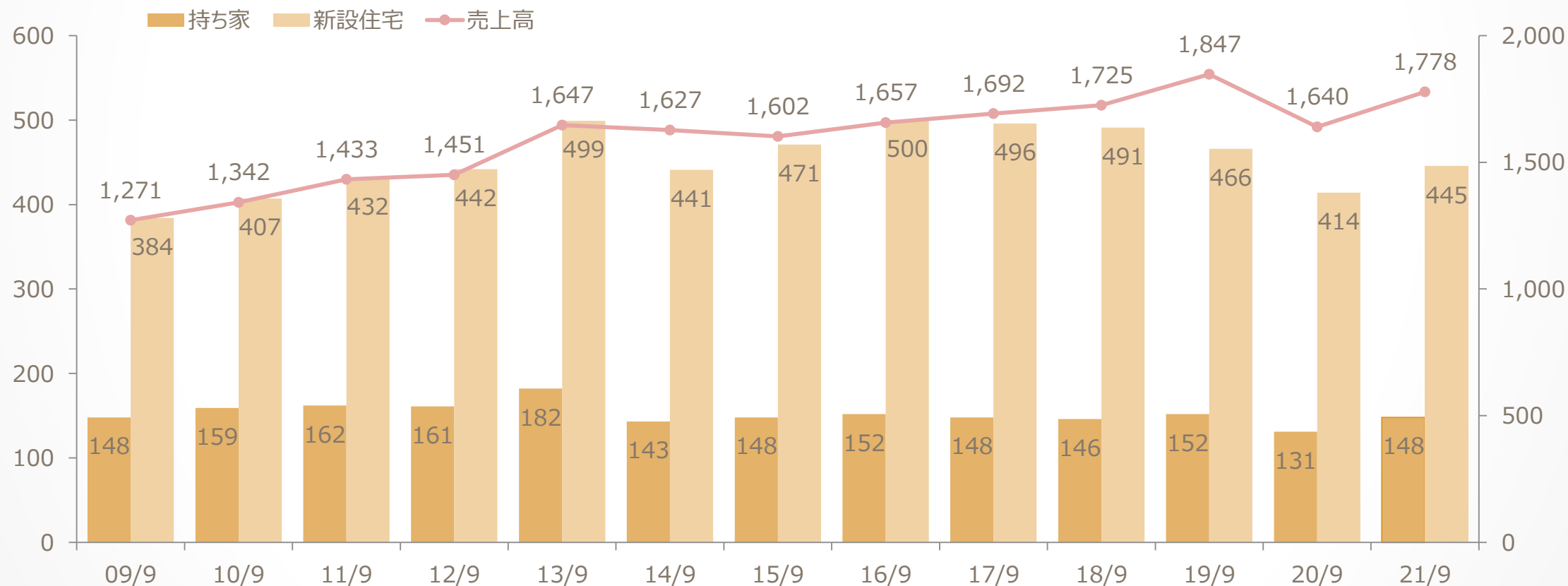
(2) 第2四半期 住宅着工戸数 推移

住宅着工

当社グループが主力とする持ち家は、新型コロナウイルス感染症の影響から営業がストップした前年同期比では13.3%の増加となっていますが、前々年同期比では2.8%の減少となっています。

(単位：千戸)

(単位：億円)

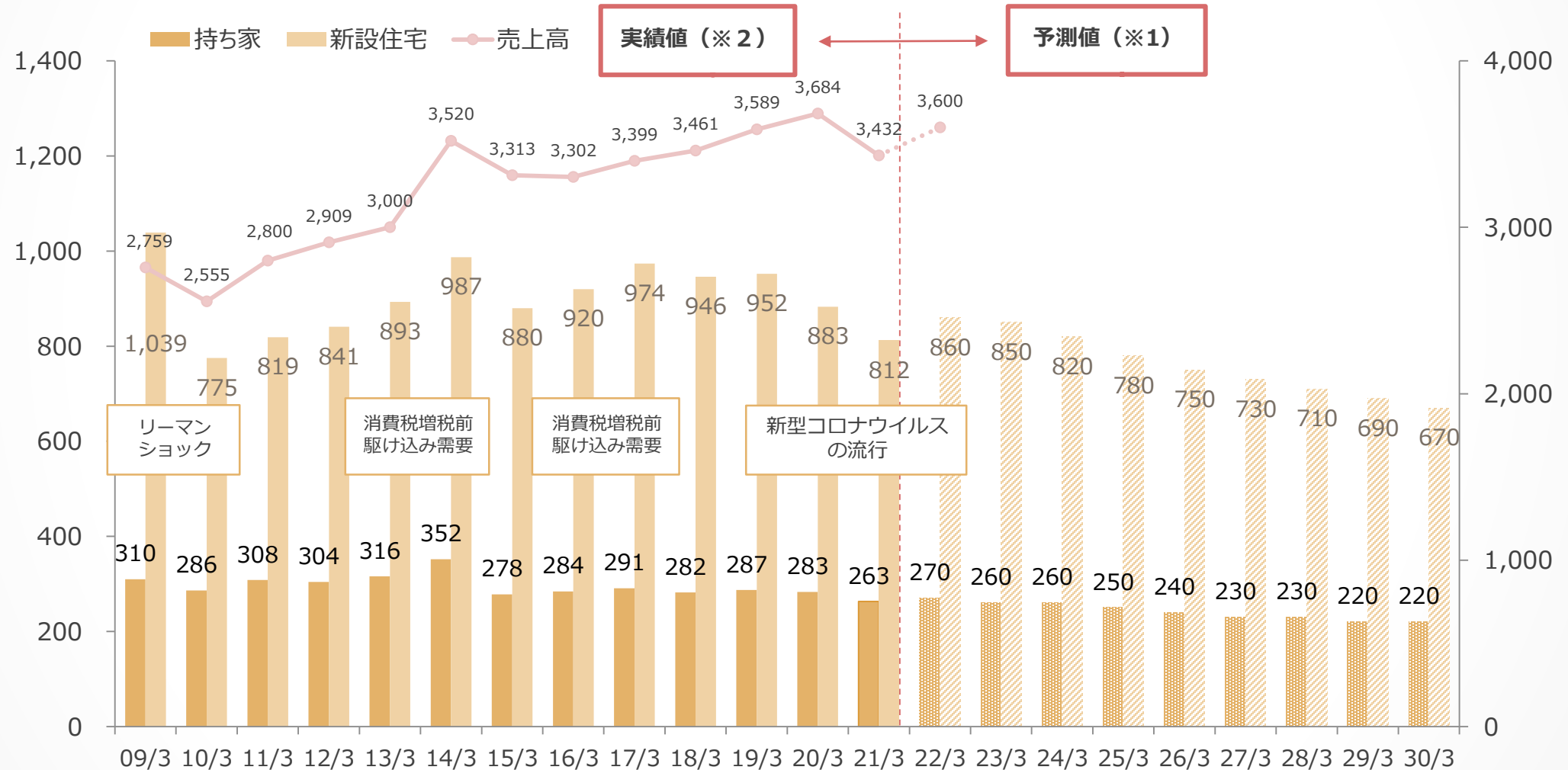


出典：住宅着工数 国土交通省 建築着工統計調査報告

(参考) 通期住宅着工戸数 推移

(単位：千戸)

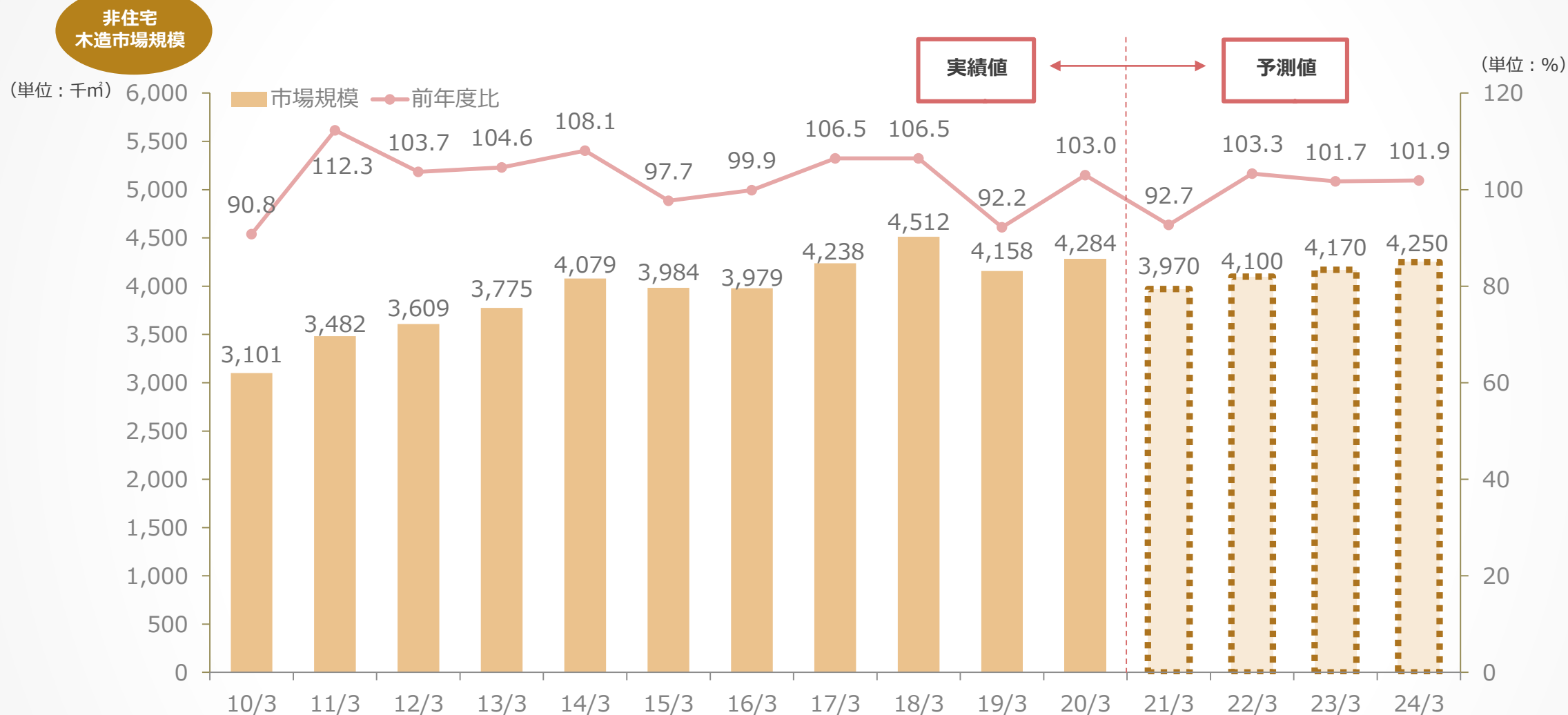
(単位：億円)



出典：※1 野村総合研究所のデータをもとにJKホールディングス(株)が作成（2021年6月8日公表）

※2 国土交通省 建築着工統計調査報告

(3) 非住宅木造建築市場規模推移



出典：(株)矢野経済研究所「非住宅木材市場に関する調査（2020年）」2021年3月15日発表

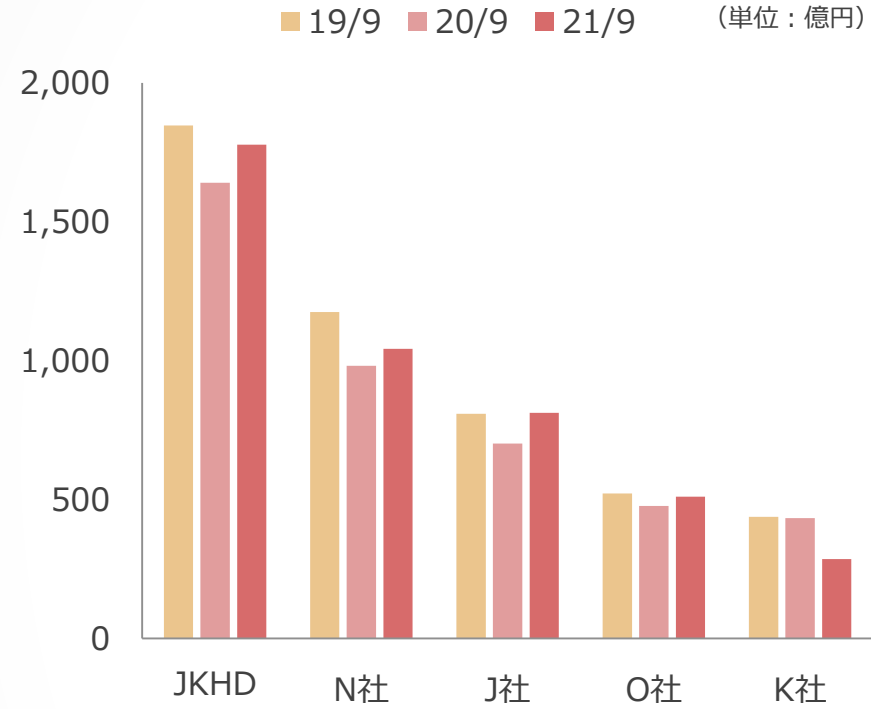
注：独立行政法人統計センターによる国土交通省「建築着工統計」のオーダーメード集計データを基に矢野経済研究所推計（なお、2009～2019年度の実績データは統計法に基づいて、独立行政法人統計センターから「建築着工統計」（国土交通省）のオーダーメード集計により提供を受けた統計成果物を基にしており、国土交通省が作成・公表している統計等とは異なります）。非住宅木造市場とは、国土交通省「建築着工統計調査」の分類における「産業用建築物（事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎、病院・診療所、その他の 合計）」で「木造」構造の建築物を対象とし、市場規模は建築着工ベースにおける床面積にて算出している。なお、新築に加え増改築着工実績も対象とした。

(4) 同業他社との業績比較

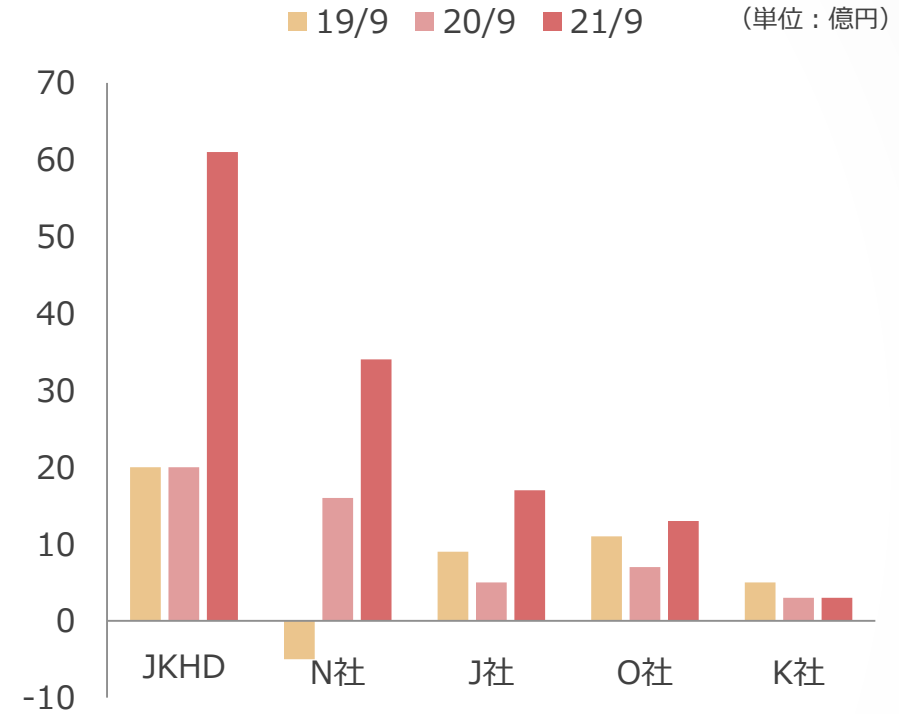


JK Holdings Co.,Ltd.

■ 売上高



■ 経常利益



■ 前期比較

	JKHD	N社	J社	O社	K社
売上高	8.4%	6.2%	15.6%	6.8%	▲33.8%
経常利益	205.0%	109.8%	192.6%	96.6%	▲3.6%

J Kホールディングス(株)について

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

当社グループは、住宅建築資材の流通業を主要事業とし、「快適で豊かな住環境の創造」という企業理念の下、より良い住宅資材を、適正価格で、お客様の要望される場所にお届けすることを目標に、営業活動を展開しております。

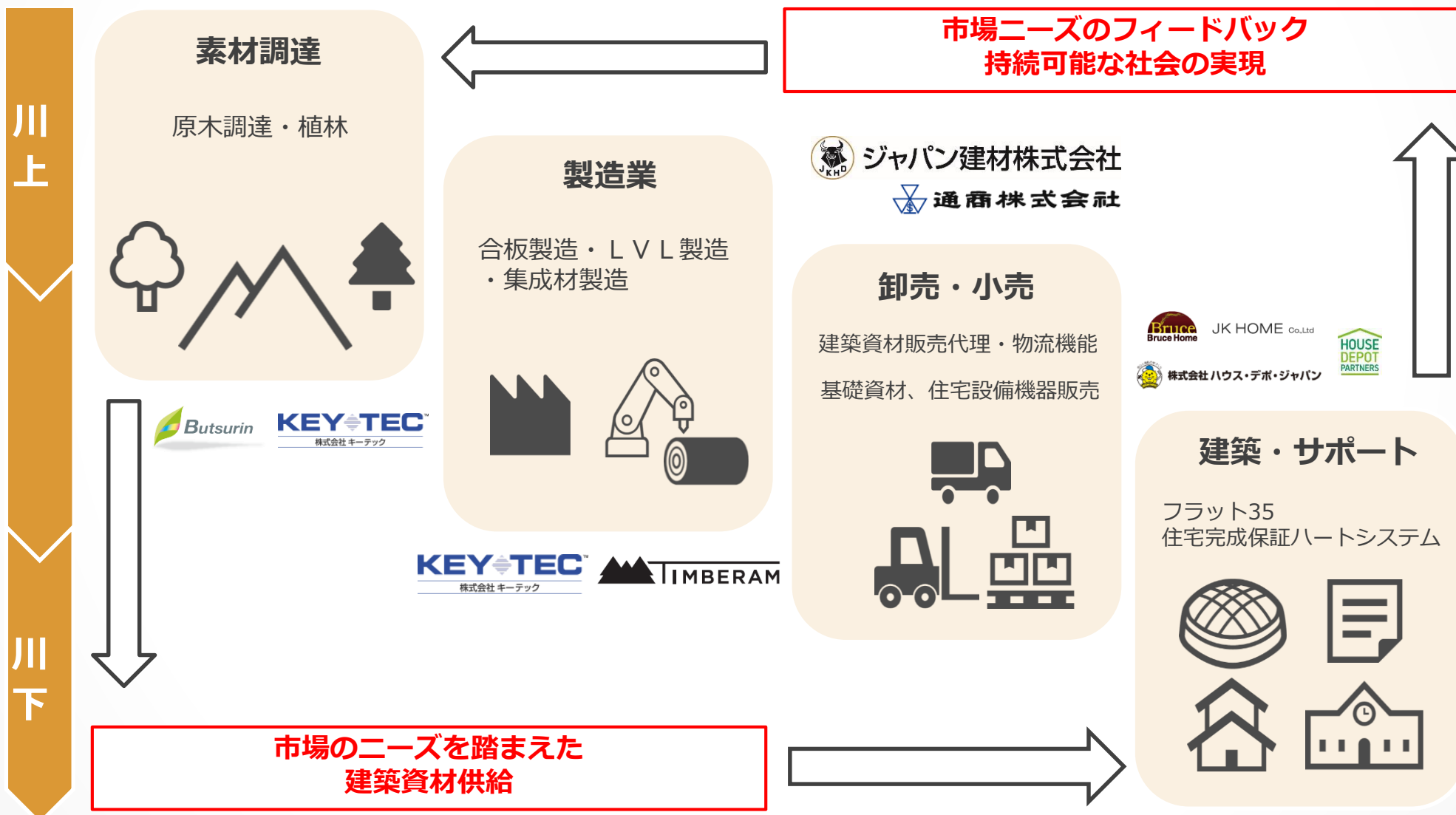
また、単にモノを販売するだけでなく、お客様に経営のノウハウを提供することで、お客様との共存共栄を図る仕組みづくりにも取り組んでおります。

基本情報（2021年9月30日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 14社 ② 合板製造・木材加工事業 9社 ③ 総合建材小売事業 21社 ④ その他 19社
従業員数	3,329名（連結）		



JK Holdings Co.,Ltd.



(3) グループ企業一覧

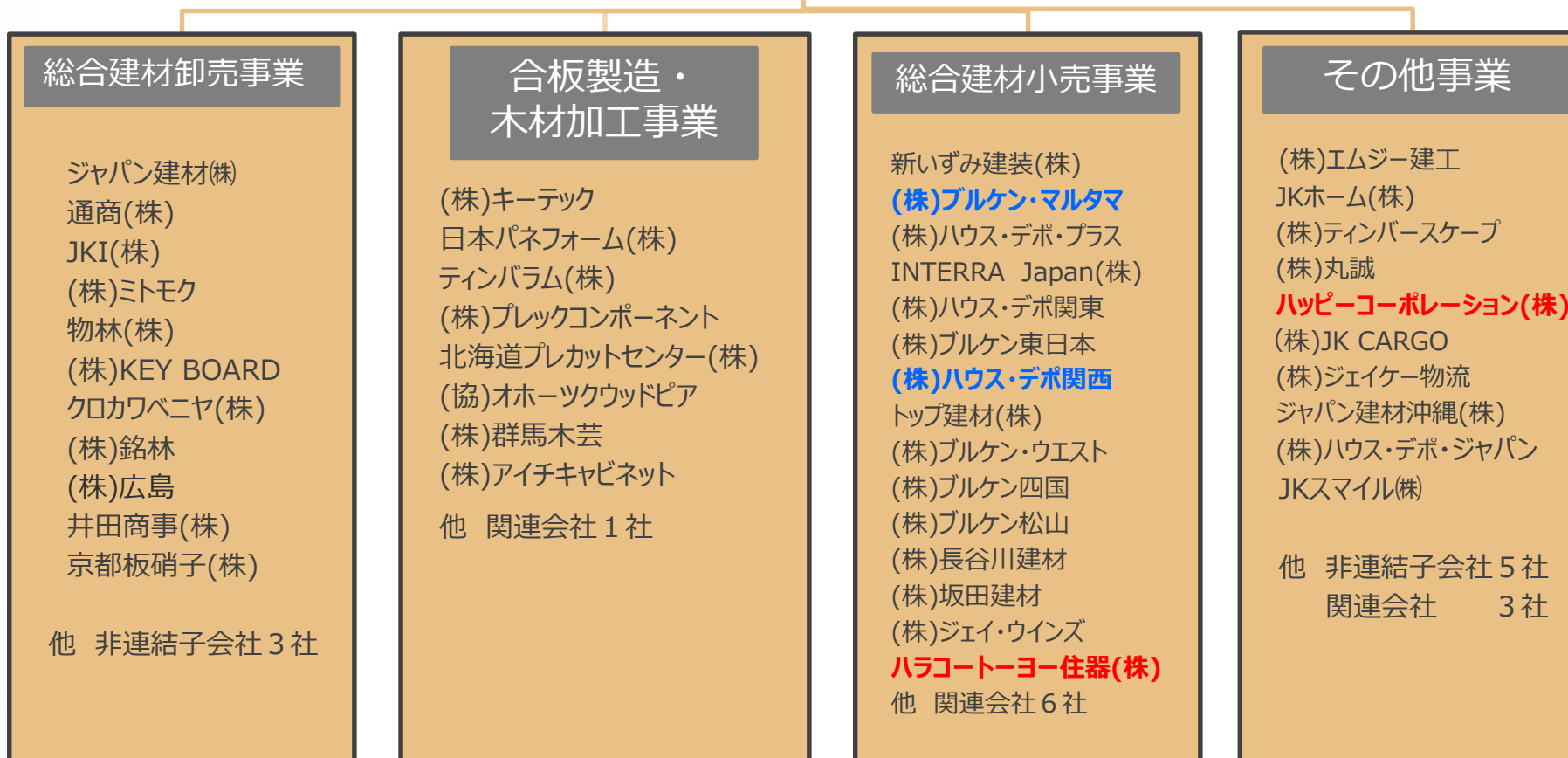


JK Holdings Co., Ltd.

純粋持株会社であるＪＫホールディングス(株)の下、住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社として、住宅関連企業をグループ傘下に展開しています。



(2021年9月30日現在)



※赤字は2022年3月期に新たにグループに加わった会社、青文字はグループ内組織再編を実施した会社です。

2022年3月期 第2四半期 決算概要

(1) 連結業績

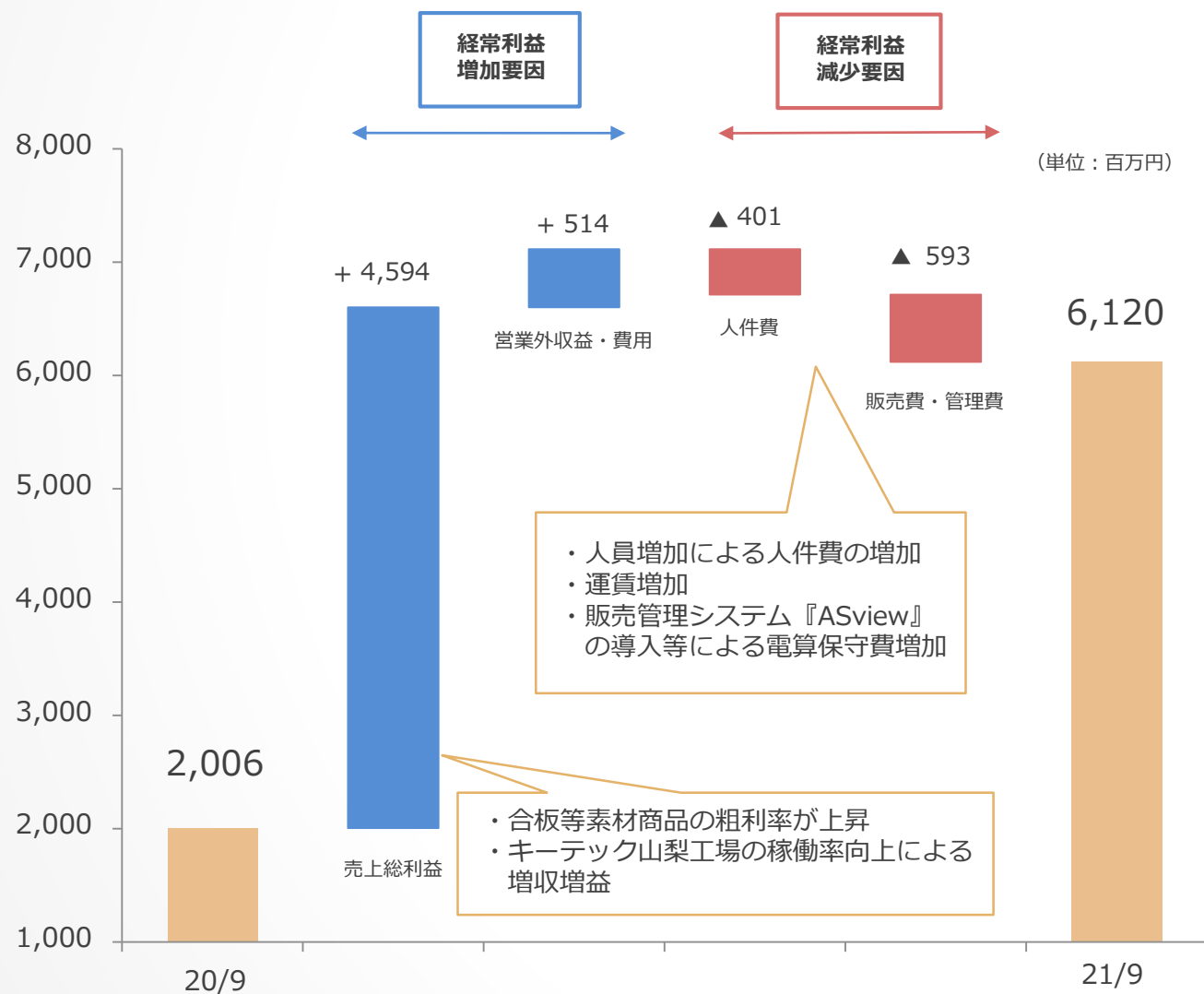
(百万円)	2022年3月期 通期計画(※)	2021年9月期	2020年9月期	前年比 (%)	(参考数値) 2021年9月期 ※収益認識会計 基準適用前	(参考数値) 前年比 (%)
売上高	360,000	177,805	164,070	8.4%	184,261	12.3%
売上総利益	—	22,196	17,601	26.1%	22,530	28.0%
(粗利率%)	—	12.5%	10.7%		12.2%	
販管費	—	16,478	15,483	6.4%	—	—
営業利益	8,500	5,717	2,118	169.8%	—	—
経常利益	9,000	6,120	2,006	205.0%	—	—
親会社に帰属する 四半期(当期)純利益	6,000	4,220	1,173	259.5%	—	—

※2021/11/1に業績予想の上方修正を開示いたしました。

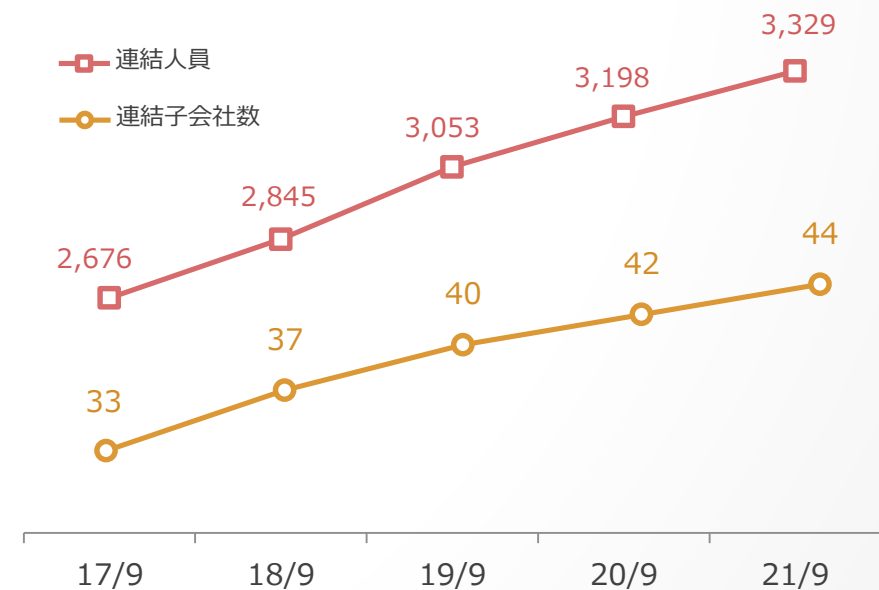
(2) 利益増減分析



連結経常利益増減



	主要販管費増減内訳		
	20/9	21/9	増減比率
人件費	9,144	9,546	4.4%
販売費	3,239	3,628	12.0%
管理費	3,098	3,304	6.6%
合計	15,483	16,478	6.4%



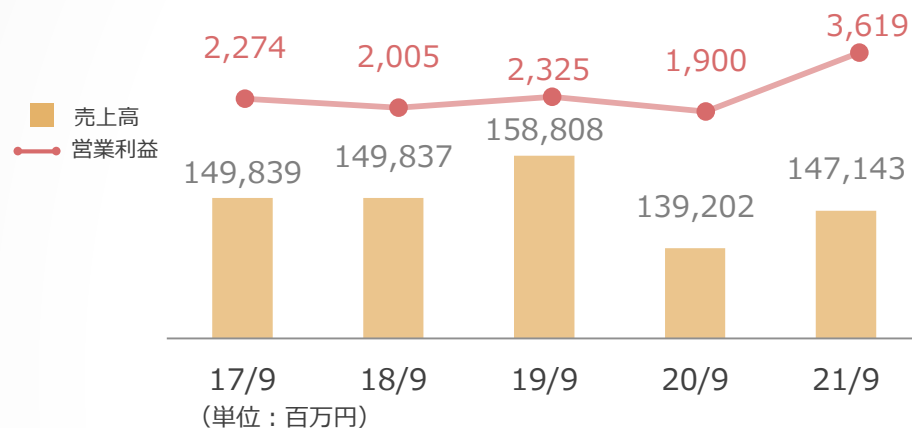
(3) キャッシュフローの状況

(百万円)	2020年9月期	2021年9月期	前年差
営業キャッシュフロー	249	2,467	2,217
売上債権の増減額（△は増加）	8,107	▲ 8,108	▲ 16,216
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,239	4,416	3,176
仕入債務の増減額（△は減少）	▲ 10,967	4,422	15,389
投資キャッシュフロー	▲ 2,340	▲ 1,245	1,094
固定資産取得による支出	▲ 2,073	▲ 696	1,377
財務キャッシュフロー	604	▲ 984	▲ 1,588
短期借入金の純増減額（△は減少）	▲ 250	▲ 123	127
長期借入れによる収入	5,490	4,320	▲ 1,170
長期借入金の返済による支出	▲ 4,817	▲ 4,695	121
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	7,000	10,000	3,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	▲ 6,000	▲ 10,000	▲ 4,000
自己株式取得による支出	▲ 339	▲ 0	339
配当金の支払額	▲ 302	▲ 298	4
現金及び現金同等物の期末残高	31,028	36,295	5,266

(4) 事業別の売上高・営業利益推移

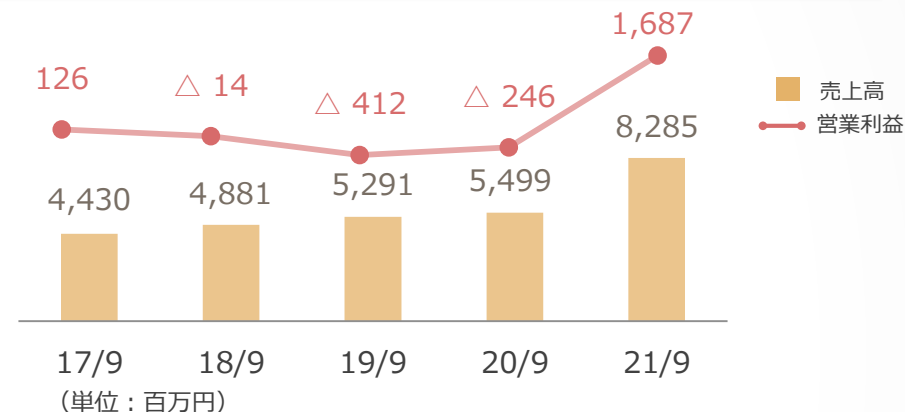
① 総合建材卸売事業

「ウッドショック」の影響から、特に合板等素材商品の調達面で十分な量の確保が難しい状況でしたが、取扱商品全般、特に合板等素材商品を主体に利益率は大きく改善しました。



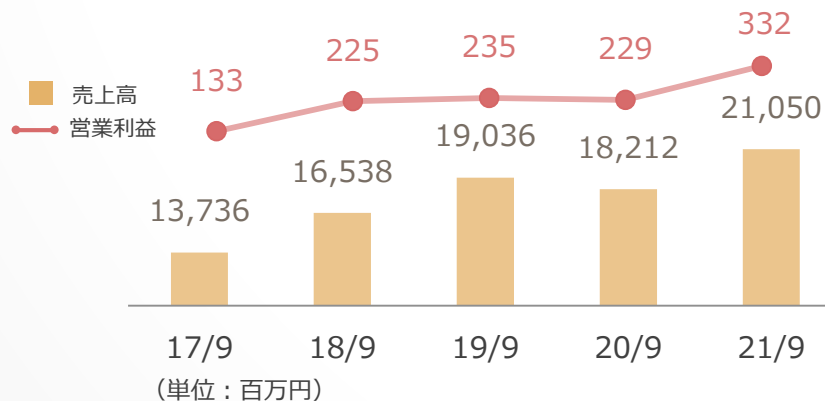
② 合板製造・木材加工事業

当事業の中核を占める(株)キーテックは、主力のキーラム（LVL）事業が代替材としての需要拡大や、一昨年稼働を開始した山梨合板工場の稼働率向上から増収増益となりました。また、その他の子会社もほぼすべて黒字転換を伴う増収増益を果たしました。

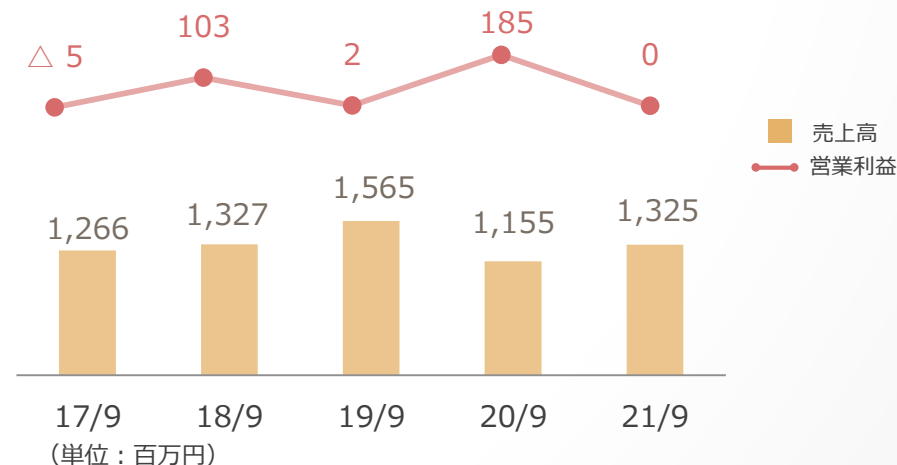


③ 総合建材小売事業

(株)ティエフウッドを(株)ブルケン・マルタマに、四辻製材(株)を(株)ハウス・デポ関西に各々吸収合併しグループ内再編を進めました。業績は各社により若干のばらつきがありますが、総じて増収増益の傾向にあります。



④ その他



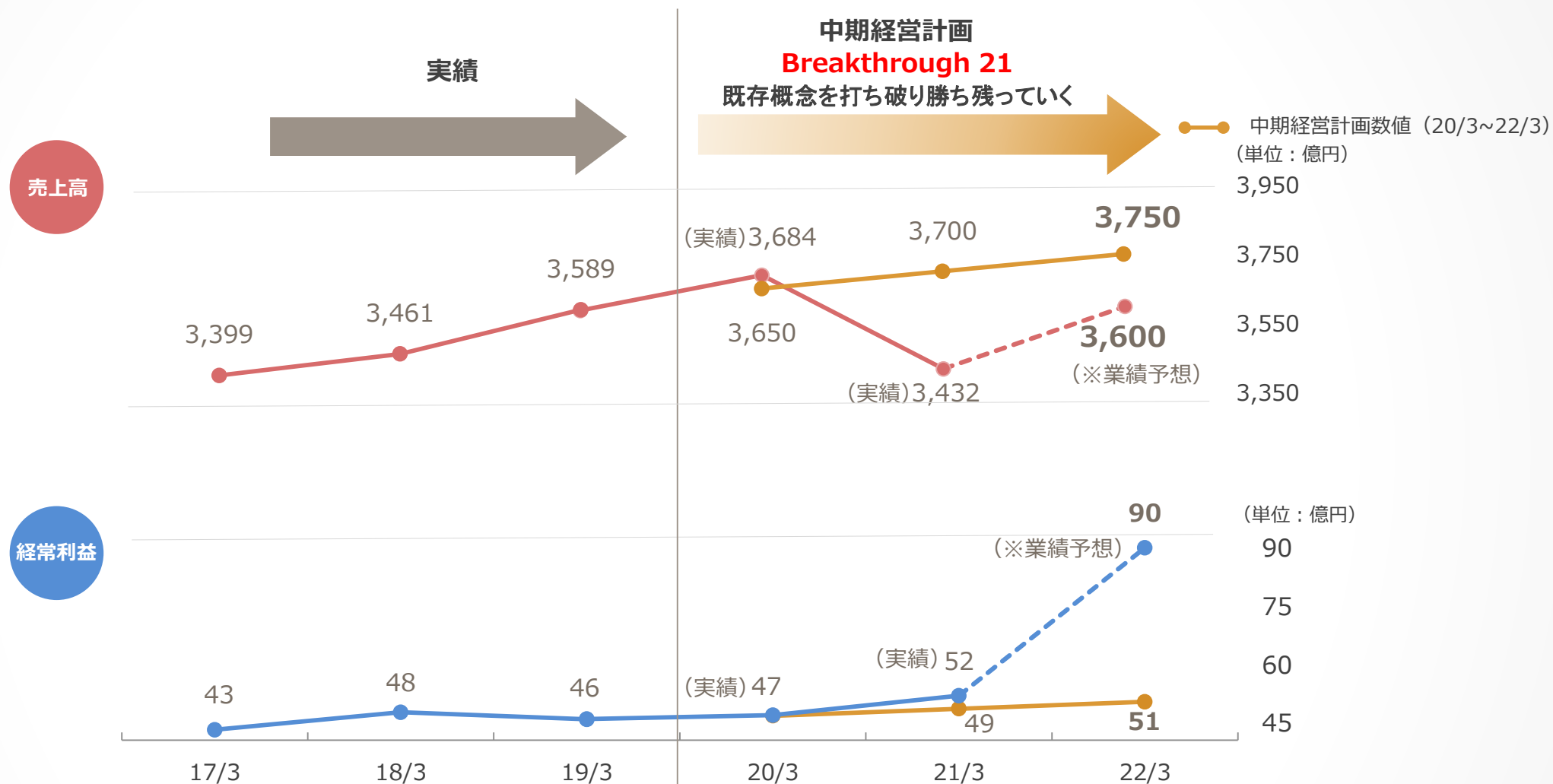
(5) バランスシートの状況

	2021年3月期	2021年9月期	増減
(百万円)			
資産	206,288	210,759	4,471
現金及び預金	36,481	36,856	374
売上債権及び契約資産	76,983 (※)	85,397	8,414
棚卸資産	19,709	15,300	▲ 4,408
固定資産	71,585	71,614	29
負債	161,112	161,517	405
仕入債務	96,905	101,791	4,886
その他	8,863	4,317	▲ 4,545
有利子負債	45,375	44,938	▲ 437
自己資本	43,732	47,694	3,961
その他有価証券評価差額金	1,594	1,580	▲ 13
(自己資本比率%)	21.2 %	22.6 %	

※前期の数値は、収益認識基準を適用前の為、売上債権の金額のみとなっております。

中長期経営計画について

(1) 中期目標 – 売上高と経常利益の見通し



「Breakthrough 21」 ～既存概念を打ち破り勝ち残っていく～



重点施策

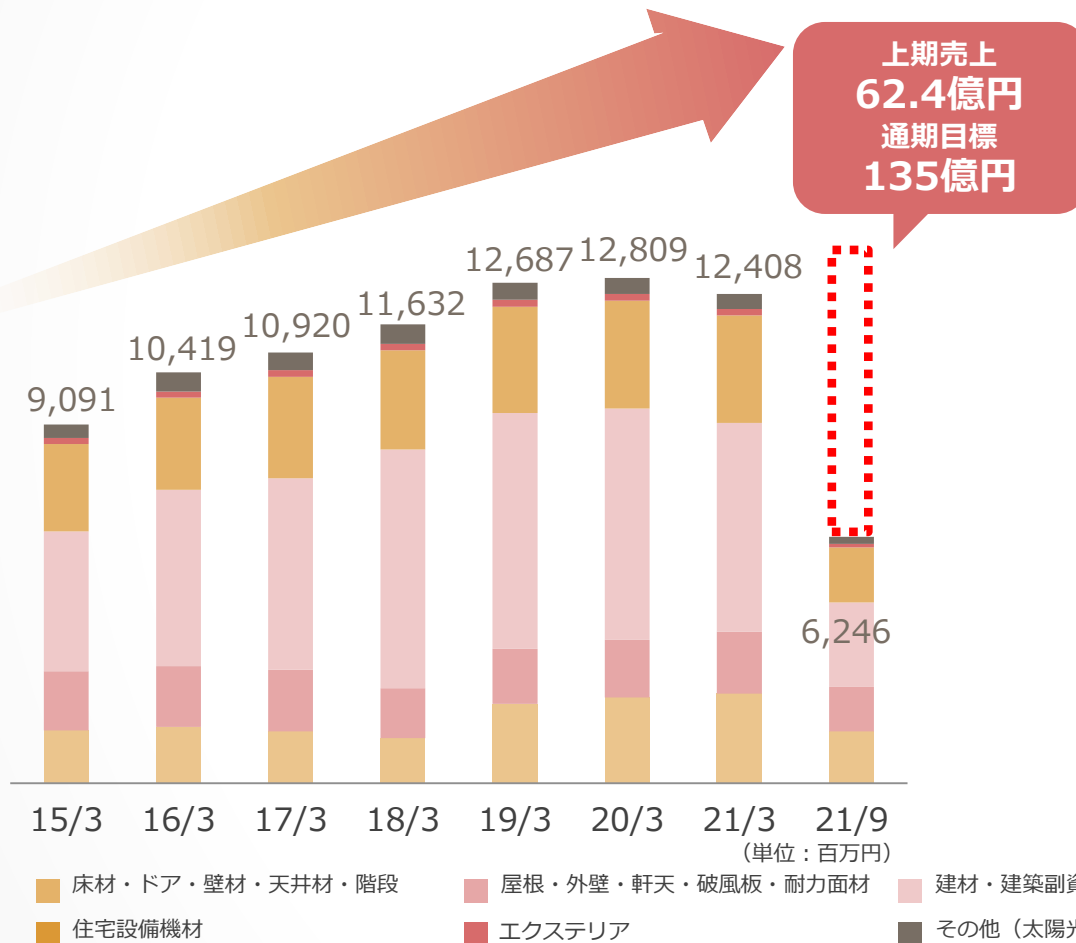
- (株)キーテックが山梨合板工場を新設
- INTERRA Japan(株)を核に E C ビジネスを拡充
- パーク P F I ・ 公民連携への取り組み
- 材工一式販売、 P B 商品、 J K 木造建築グループ等付加価値部門の拡大

2019年度～2021年度の主な進捗状況

- (株)キーテック山梨合板工場稼働
 - 当初計画の月間生産量5,700m³を達成（2021年9月生産量6,637m³）
- E C ビジネスの拡充
 - インターネットによるサッシ、エクステリアの製品等の施工販売を行うハッピーコーポレーション(株)の株式を取得
- パーク P F I 事業
 - 2019年8月より着工開始した豊洲ぐるり公園パークレストラン『キューイジーヌ フランセーズ ラシャンス』が2020年9月にオープン
 - P F I 事業第二弾となる多摩中央公園の事業者に選定
- 非住宅木構造事業の推進（詳細25ページ）
 - 国内最大規模の木造3階建て流山市立おおぐろの森小学校が完成
 - 2022年4月開校を目指し、流山市立おおぐろの森中学校を建設中
- LogBuildへの出資
 - 工務店業務効率化支援を目的とし、スタートアップ企業への出資

※赤文字は2021年度の取り組み事項

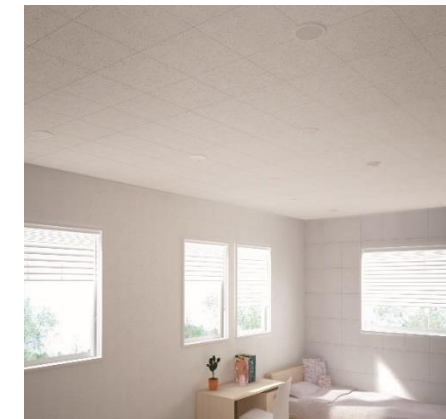
Bulls商品の強みである、豊富な基礎資材を中心とした販売に注力するとともに、住まい方の変化や災害対策など、時流に即した商品を拡充しております。
アイテム数は600品目を見据え、通期売上135億円を目指します。



<Bulls商品>



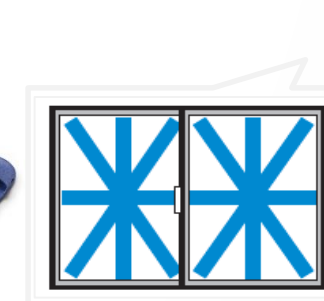
↑高輝度フローリング チェリーグロス



↑ロックウール吸音天井材クリーントーン



↑防災リュック



↑防災用窓ガラステープ



新たな価値創造

強くしなやかな組織作り

企業プレゼンス向上

売上100億（※1）を目標とし、木造建築分野を広くカバーする当グループは、さまざまな規模の非住宅案件に注力しています。（※1 J K 木造建築グループ 非住宅案件売上）

① 岩手県大船渡市「三栄工業所新社屋」



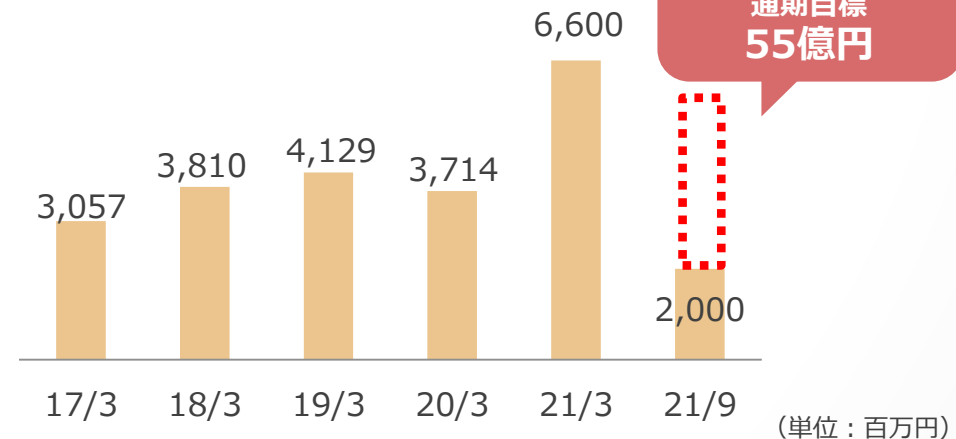
② 国内最大規模の木造校舎の着工 「流山市立おおぐろの森中学校」



③ J K 木造建築グループ 構成



④ J K 木造建築グループ 非住宅案件売上



「Breakthrough 21」 ～既存概念を打ち破り勝ち残っていく～



重点施策

- ジャパン建材(株)の機構改革
- 海外事業
- 建材小売子会社の再編
- システムインフラの整備
- 木質素材製造子会社の再編
- 業界再編への取り組み
- 働き方改革の実践と人材育成

2019年度から2021年度の主な進捗状況

- **ジャパン建材(株)の機構改革**
 - 大手ハウスメーカー、ビルダー向けの産業資材・特販と小売店向けのルートの事業分野別であった営業体制を地域別に再編成
- **木質素材製造子会社の再編**
 - 秋田グルーラム(株)と(株)MIYAMORIが合併し、ティンバラム(株)として、設計から施工まで一気通貫の請負体制『W S S (ウッドストラクチャーシステム)』を構築
- **業界再編への取り組み (詳細27ページ)**
 - ハラコートヨー住器(株)、ハッピーコーポレーション(株)、(株)長谷川建材、(株)ティエフウッド、四辻製材(株)、井田商事(株)、京都板硝子(株)、(株)坂田建材の株式取得
 - 土井住宅産業(株)の一部事業譲受
- **建材小売子会社の再編**
 - (株)ブルケン・マルタマおよび(株)ティエフウッド、(株)ハウス・デポ関西および四辻製材(株)のグループ内組織再編を実施
- **システムインフラの整備**
 - 仕入先と販売先を結ぶ販売管理システム『ASview』の導入

※赤文字は2021年度の取り組み事項

後継者不足に悩む取引先の事業承継や、グループ間のシナジー効果を高める組織再編など様々なM&Aを展開しており、今後は新規事業にも挑戦し、更なる事業拡大を狙います。

2021年9月期は、株式取得を1件（ハラコートーヨー住器(株)、ハッピーコーポレーション(株)）おこないました。

① ハラコートーヨー住器(株)

- ◆ 株式取得日 2021年9月30日
- ◆ 所在地 東京都東村山市
- ◆ 資本金 40百万円
- ◆ 設立 1979年3月1日
- ◆ 事業内容 東京都西部を主な商圈とし、サッシおよび住設機器・内装建材の販売ならびに施工を手掛けております。
- ◆ 直近業績 売上2,329百万円 経常利益56百万円

② ハッピーコーポレーション(株)

- ◆ 株式取得日 2021年9月30日
- ◆ 所在地 東京都東村山市
- ◆ 資本金 10百万円
- ◆ 設立 2010年7月1日
- ◆ 事業内容 インターネットによるサッシ・エクステリア製品等の施工販売を手掛けております。
- ◆ 直近業績 売上353百万円 経常利益5百万円



↑ハラコートーヨー住器(株) 本社

「Breakthrough 21」 ～既存概念を打ち破り勝ち残っていく～



重点施策

- 国産材有効活用への貢献
- 木材・合板博物館等への協賛
- I R、P Rの強化

2019年度から2021年度の主な進捗状況

- 国産材有効活用への貢献（詳細29ページ）
 - (株)キーテックの国産材消費割合が2018年上期の38%から2021年上期は65%に増加
山梨県産材を積極的に活用し、地産地消の取り組みを実施
- 環境配慮型プライベートブランド商品 J-Greenの普及（詳細30ページ）
 - F S Cを取得した杉・カラマツのハイブリッド構造用合板の販売を開始
- J K H Dグループ各社 S D G sの取り組み強化（詳細31～32ページ）
 - 物林(株)が『国産材を活用し日本の森林を守る運動推進協議会』より『日本の森林を守るため共に行動する企業』として認定
 - 屋内農園型障害者雇用サービス『I B U K I』を通じて、多種多様な人材が活躍できる環境を提供。専用ブースにて、従業員 8 名がハーブ栽培を実施
- 木材・合板博物館等への協賛
 - 同博物館では木材に関する資料や情報等を収集、保存、公開し、地球環境の保全や快適で豊かな暮らしの実現を目指すとともに、木材の持つ魅力と可能性を発信

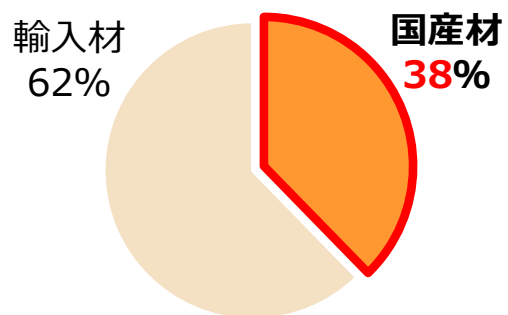
※赤文字は2021年度の取り組み事項



2021年9月に林野庁が公表した木材需給表では、2020年の木材自給率を41.8%（前年4.0ポイント増）とし、10年連続の上昇となっております。JKHDグループでは今後も木材自給率の向上に貢献してまいります。

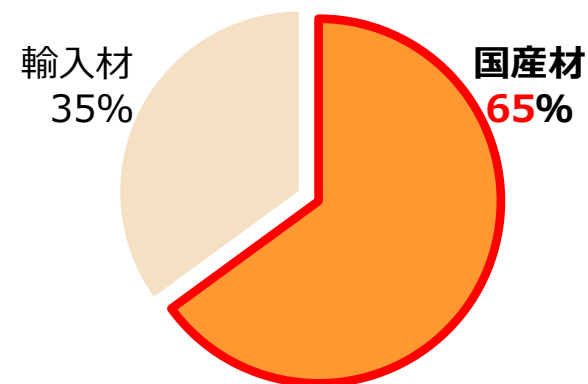
2018年度上期 国産材消費割合

（前中期経営計画最終年度）



■ 国産材 ■ 輸入材

2021年度上期 国産材消費割合



■ 国産材 ■ 輸入材

2019年度に山梨県にて、100%国産材を使用した合板工場を稼働しました。原木は山梨県産材を中心に近隣の都県から調達し、地産地消の取り組みを進めております。
(株)キーテック全体の国産材消費割合は山梨合板工場稼働前の2018年度上期の38%に比べて、2021年度上期では65%に増加しました。

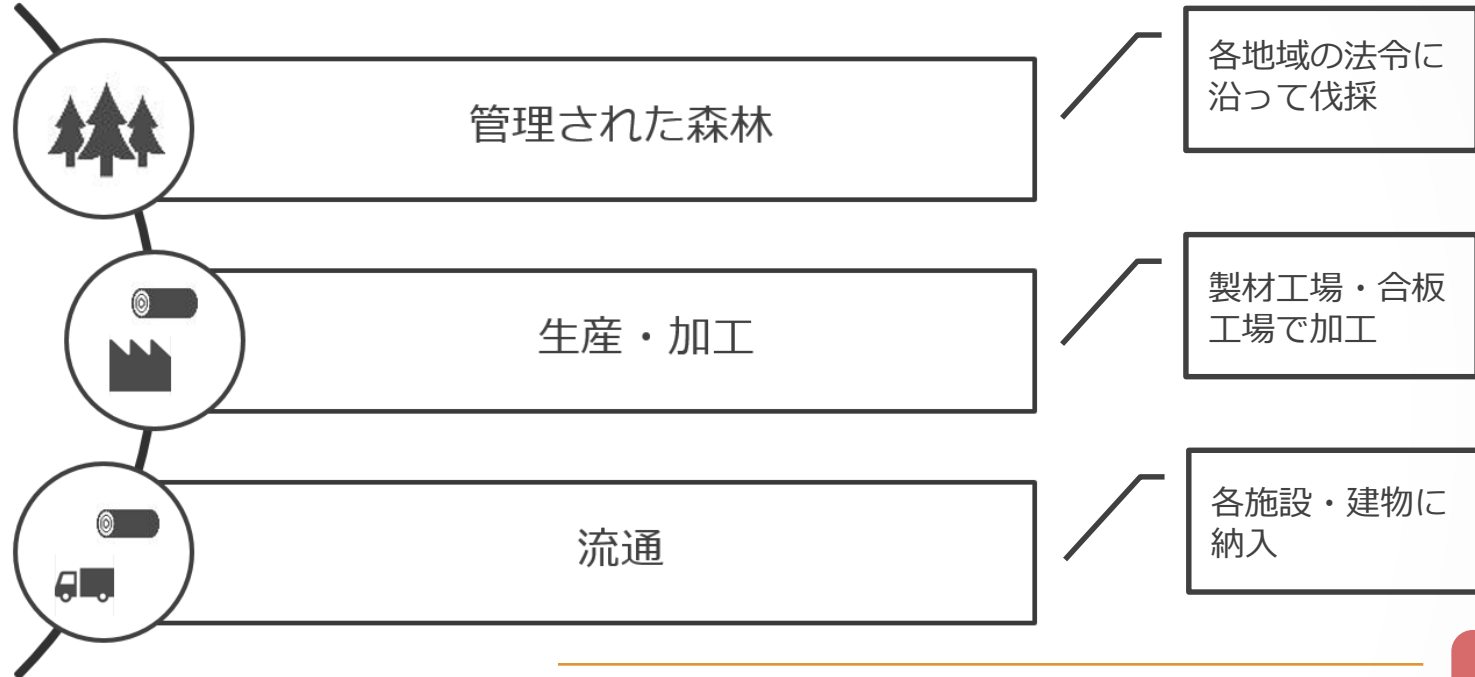


ジャパン建材(株)は合板・木材製品のエコブランド、プライベートブランドの「J-GREEN」事業を開始しました。合法性等に配慮した製品、環境に優しい製品を選定し、国内外での普及に向けて取り組んでまいります。



ジャパン建材株式会社

- ・ 供給販売
- ・ 企画提案
- ・ 普及活動



(百万円)	2020年9月期	2021年9月期
売上高	1,203	1,367
合板	1,020	1,192
木材	182	174

前年同月比
113.6%

新たな価値創造

強くしなやかな組織作り

企業プレゼンス向上

私たちは、持続可能な社会構築と自社の成長を長期的課題として認識し、JKホールディングス(株)の企業理念「快適で豊かな住環境の創造」を頂点とする取組ビジョンを設定しました。
当社グループ各社がSDGs目標と重要課題を策定し、課題解決に向けた基本戦略を実践していくことで、幅広い領域の課題に対応していきます。





マテリアティ	基本戦略	目標
1. 人財	・ 1人ひとりが健康かつ安全に働き続けられる職場環境の整備 ・ 職場でのOJTや様々な研修プログラムの実践	
2. 持続可能なまちづくり	・ 公園PPP/PFIの参画を通し、自然災害に対するコミュニティ防災力向上 ・ 海岸防災林、雨水対策のための貯溜曹などの社会資本整備	
3. 木材資材の有効活用と地域産業の活性化	・ 国産材の有効活用、建物の木造化による循環型森林資源促進 ・ 地域産業の育成と雇用創出	

(5) 利益処分に関する基本方針及び配当金

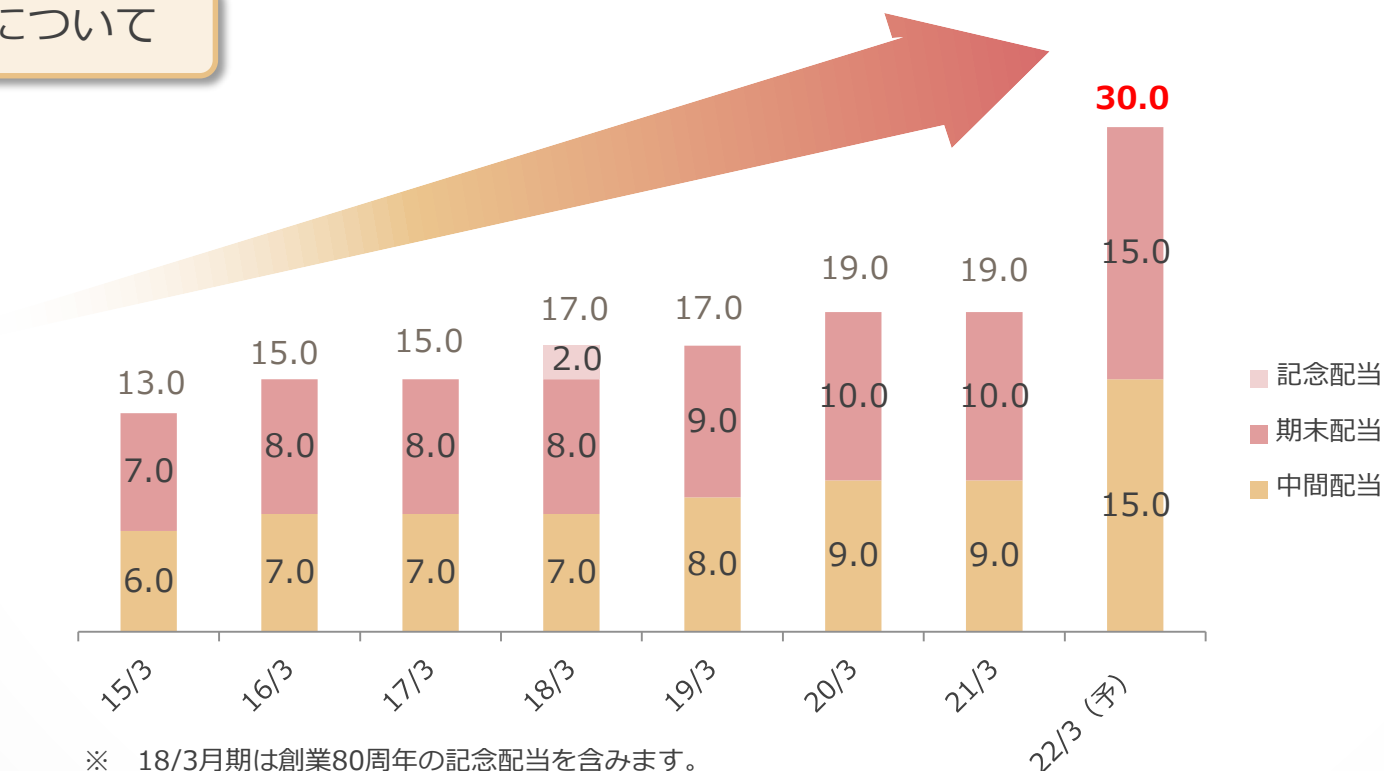
基本方針

- ・ 企業体質の強化
- ・ 内部留保の充実
- ・ 株主への安定的かつ継続的な利益還元

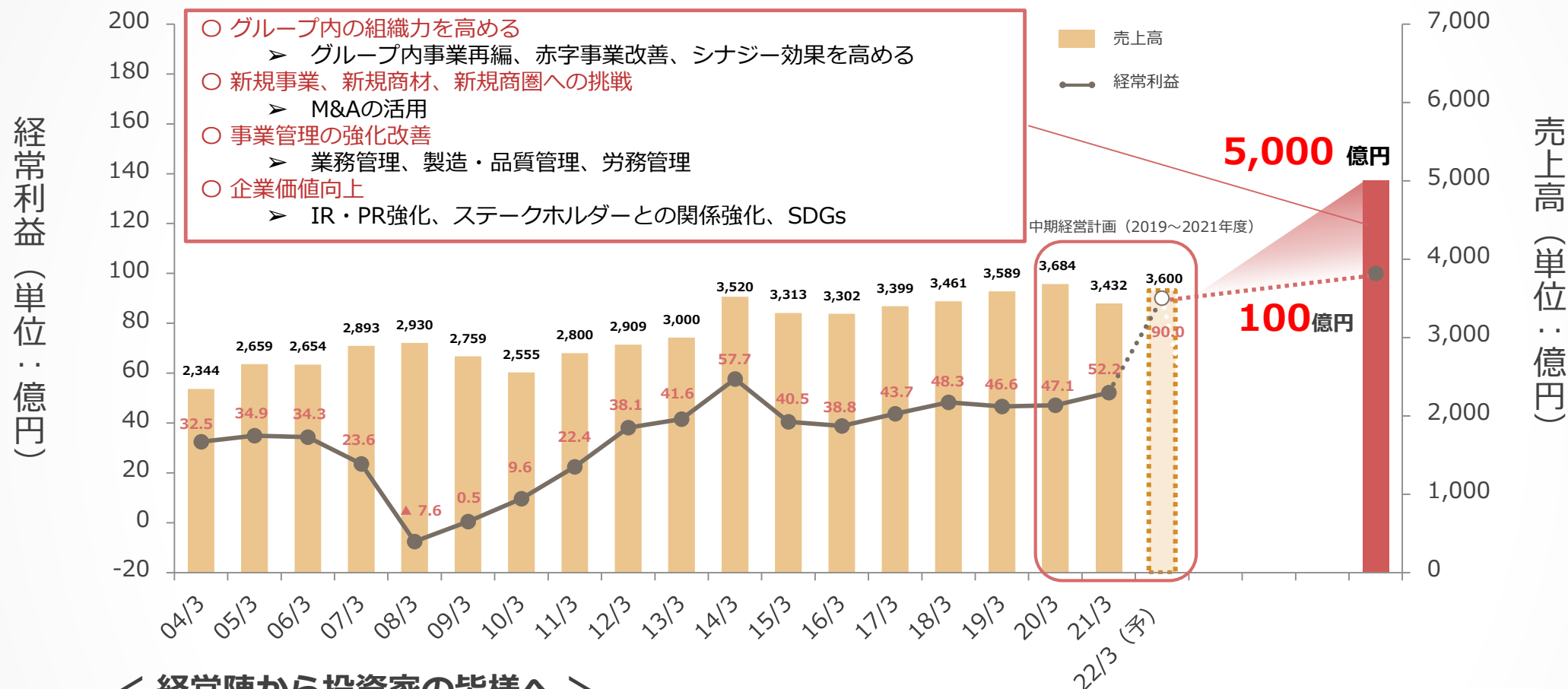
最重要課題

M&Aや営業拠点の整備などの成長投資、有利子負債の削減等財務体質の充実強化。

配当について



連結売上高5,000億円、連結経常利益100億円を目指す体制づくりへ

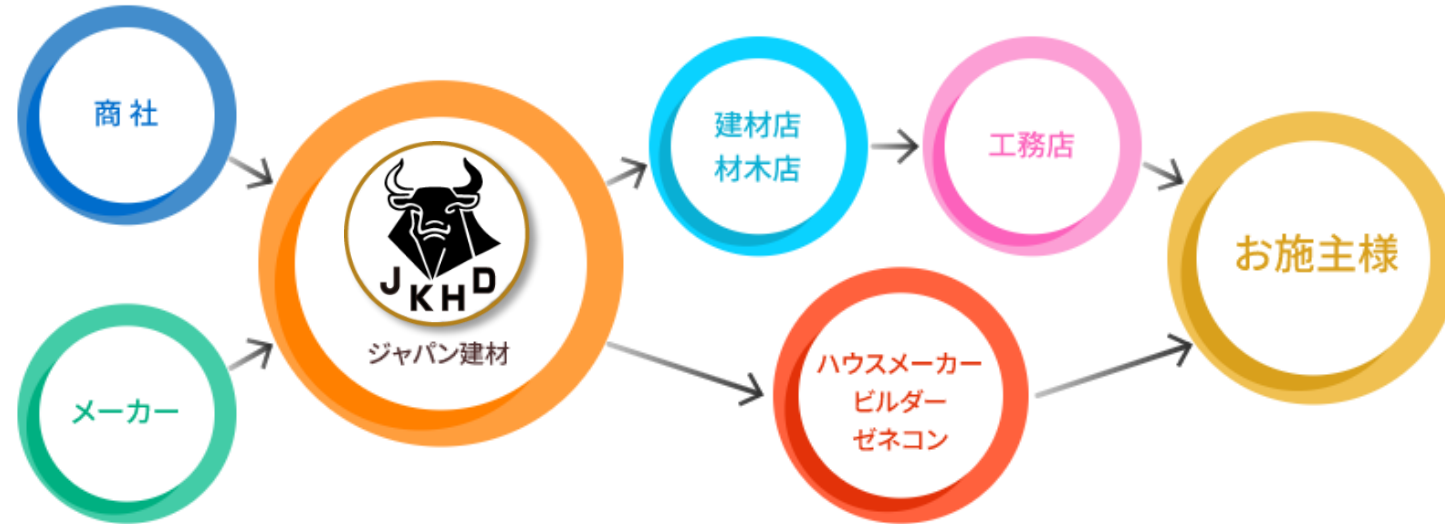


< 経営陣から投資家の皆様へ >

業界の変化に対応しつつ、企業価値の向上を目指します。
 創造性と挑戦心を持って、事業領域の拡大、深耕を進めていき、
 グループ企業の連携を深め、業界ダントツNO.1グループへと成長していきます。

補足資料

住まいづくりに必要とされる、さまざまな部材・資材の販売（卸売）を主な事業内容としています。



・素材

合板・木材・石膏ボード・断熱材

・外装・サッシ

外壁材・屋根材・サッシ・玄関ドア・エクステリア

・内装材

床材・建具・収納・階段

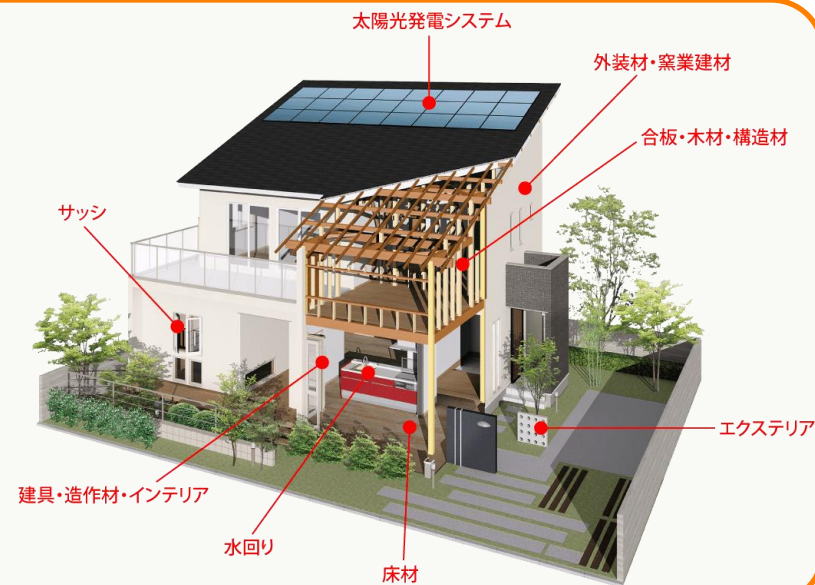
・水廻り

キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ

・省エネ機器

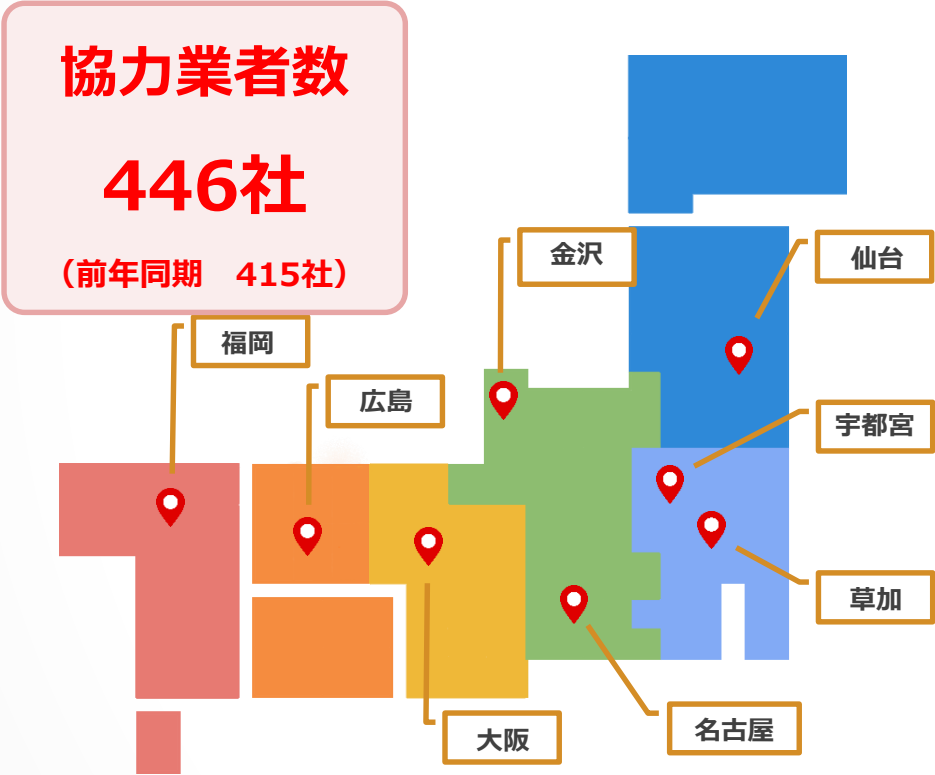
太陽光発電・蓄電池・HEMS・エコキュート

…etc.



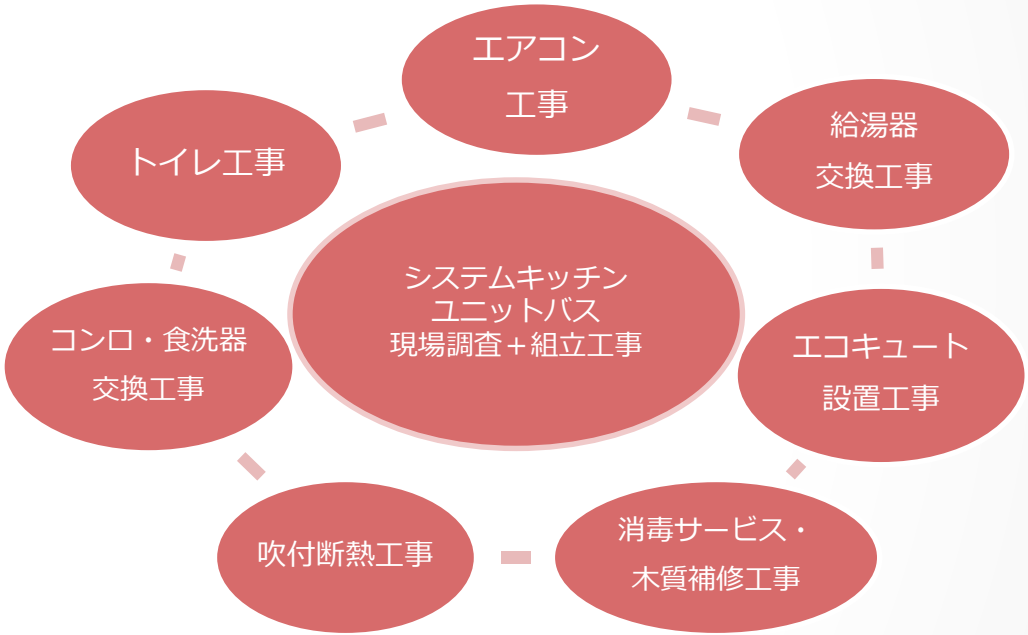
ジャパン建材の
強み

施工ネットワークを構築



JKエンジニアリングは8拠点のネットワークで全国を網羅しています。

水廻りの施工品質の維持向上を図るとともに、水廻り以外の工事提案の強化および工事機能の向上を実現することで、企業価値を高め、競合他社と差別化を図ります。



	売上（千円）	依頼台数（台）
2021年9月期	327,943	6,254

重点施策

- E.COLLEカタログの推進（照明・テレビドアホン・換気・太陽光・蓄電池
火災警報器・ホーム分電盤・配電設備 等の電気に関わる商品）
- 電気工事を含めた電気商材のTOTALのご提案
- 工務店の手配軽減
- I o T を絡めた電材品からの最新住宅設備の推進

➤ 取扱商品の一部をご紹介

SONY マルチファンクションライト



機能の一部をご紹介

照明



色と明るさをスマホでどこからでも操作できます。

テレビ



マルチファンクションライトを経由してスマホからテレビを操作。外出先からでも操作できます。(※)

エアコン



マルチファンクションライトを経由してスマホからエアコンを操作。外出先からでも操作できます。(※)

モニタリング



温度・湿度・明るさの変化を24時間分のトレンドデータとして見れます。

人感



人の動きを感知すると、光と音で威嚇し、部屋内の録音とメール通知をします。

※ご利用には無線LAN環境が必要です。
国内で流通しているすべてのテレビ・エアコンの操作を保証するものではありません。

スマートホームやIoTに必要な機能を実現するセンサーのすべてがここに集約

Benkei = 顧客製品（源義経）を海外目的地までお守りするBenkei（武蔵坊弁慶から由来）。LS = ロジスティック・ソリューションボード／物流の悩みを解決します。



ジャパン建材株式会社



海上の天候は変わりやすく、荒天に遭遇した場合、雨や海水により大切な荷物を損傷させてしまう事故などが発生するケースがあります。

不安要素を少しでも解消し、安心な輸送に貢献したいという思いから、この超撥水防湿合板「Benkei LS ボード」が誕生しました。





ジャパン建材株式会社

ジャパン建材 オンライン展示会

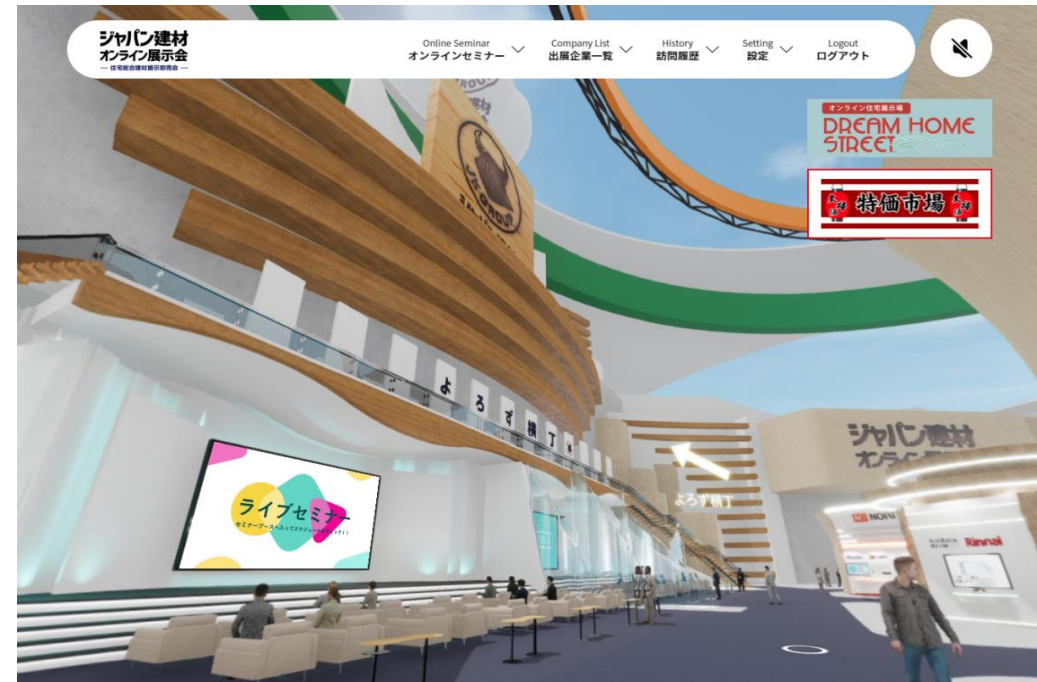
— 住宅総合建材展示即売会 —

初となる「ジャパン建材オンライン展示会」を2021年3月17日・18日・19日に開催。バーチャルなオンライン住宅展示場や、オンライントークセッション、新しいライフスタイル、商品販売など、プロユーザー向けに様々な提案を行いました。

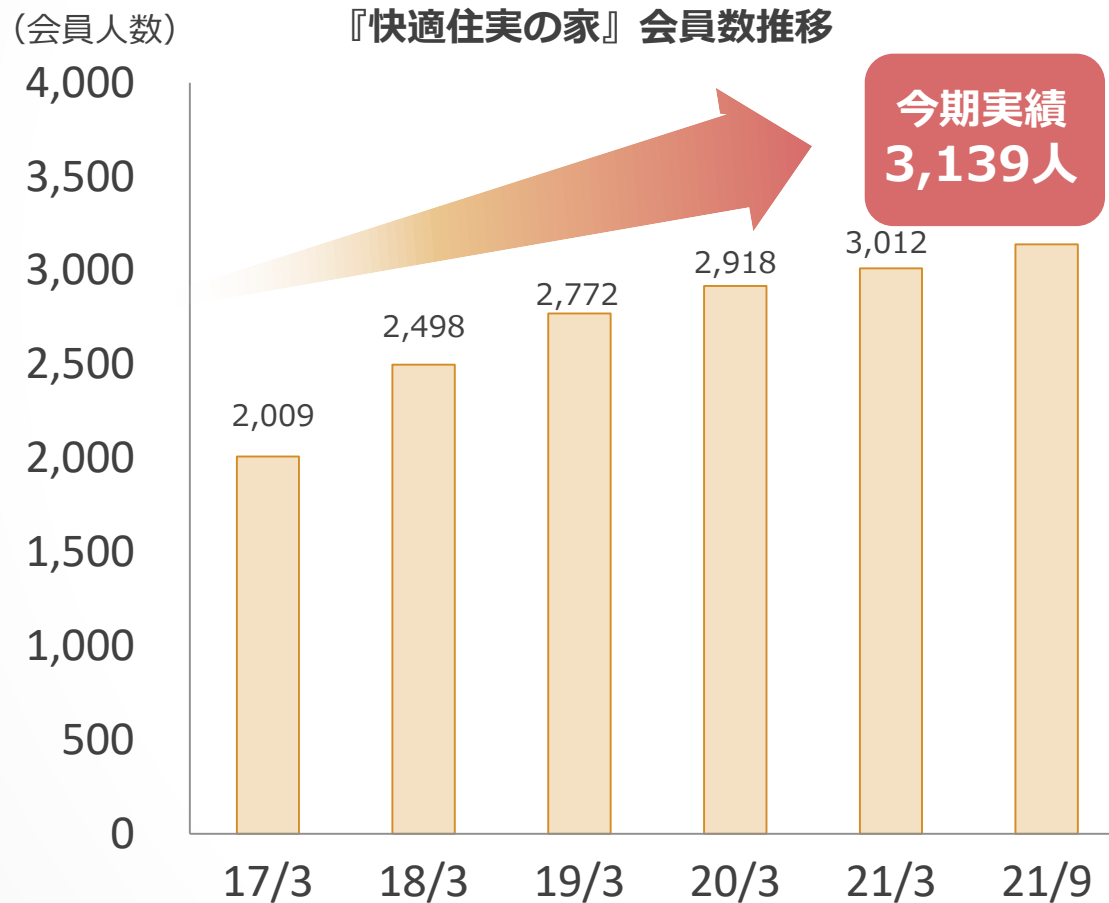
実績

売上高 13.3億円

動員 15,489名



ジャパン建材(株)が運営する「快適住実の家」は、サポートを通じて工務店様のより良い住まいづくりを応援し、共に住宅業界で勝ち残ることを目的として活動しております。各種申請サポート業務やアフターメンテナンスなどの後方支援サービスに加えて、新規顧客獲得に繋がるサービスも充実させてまいります。



 **快適住実の家**
CREATE MORE COMFORT

合板および単板、LVL、集成材および集成加工製品などの製造販売や木材の加工及び販売事業を営んでおります。

■ キーテック(株) 山梨合板工場



■ 新商品バウムクーヘン
(株)キーテック

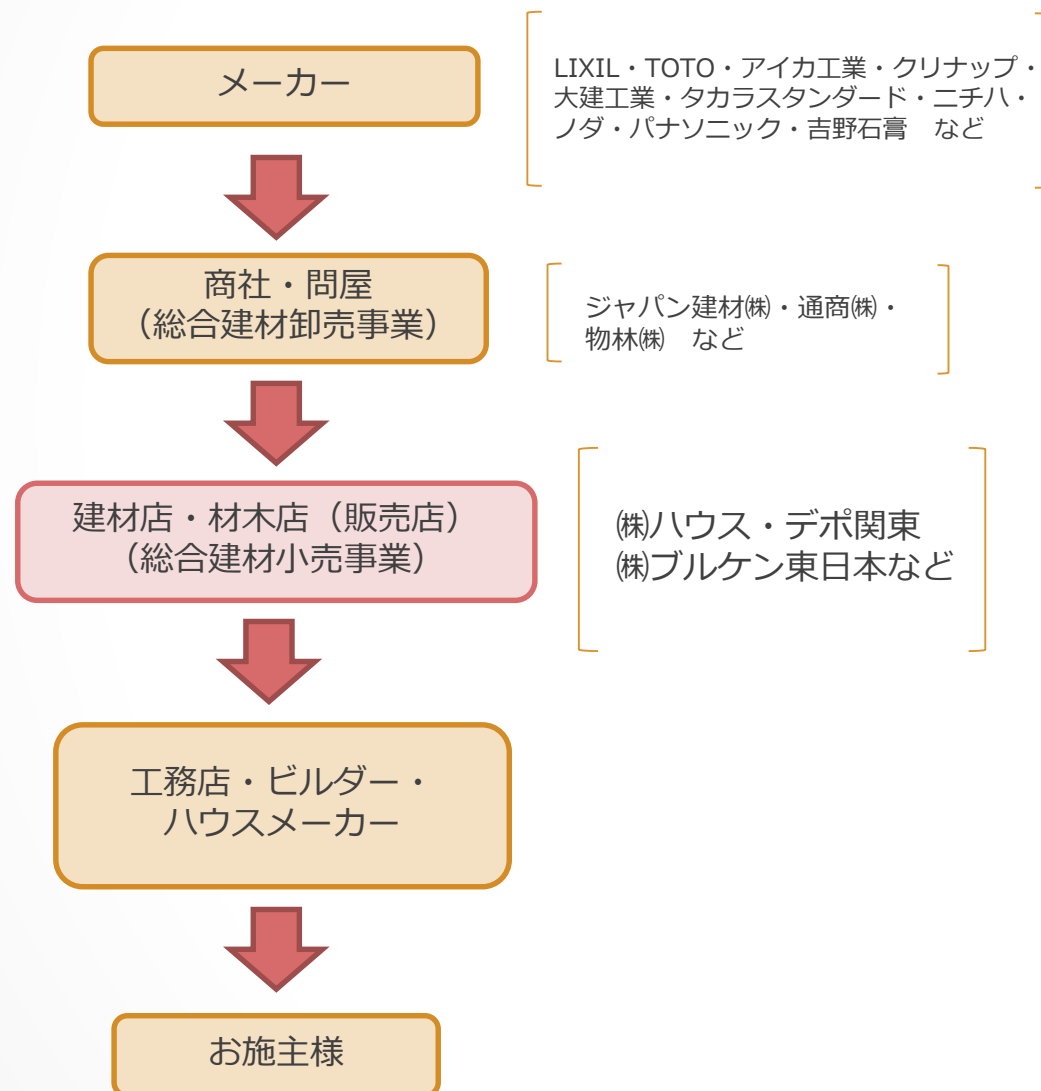


- 針葉樹合板 (株)キーテック ■ 構造用LVL (※1) KEYLAM (株)キーテック ■ CLT (※2) (ティンバラム(株)、(協組)オホーツクウッドピア) ■ パワーウッド (ティンバラム(株))

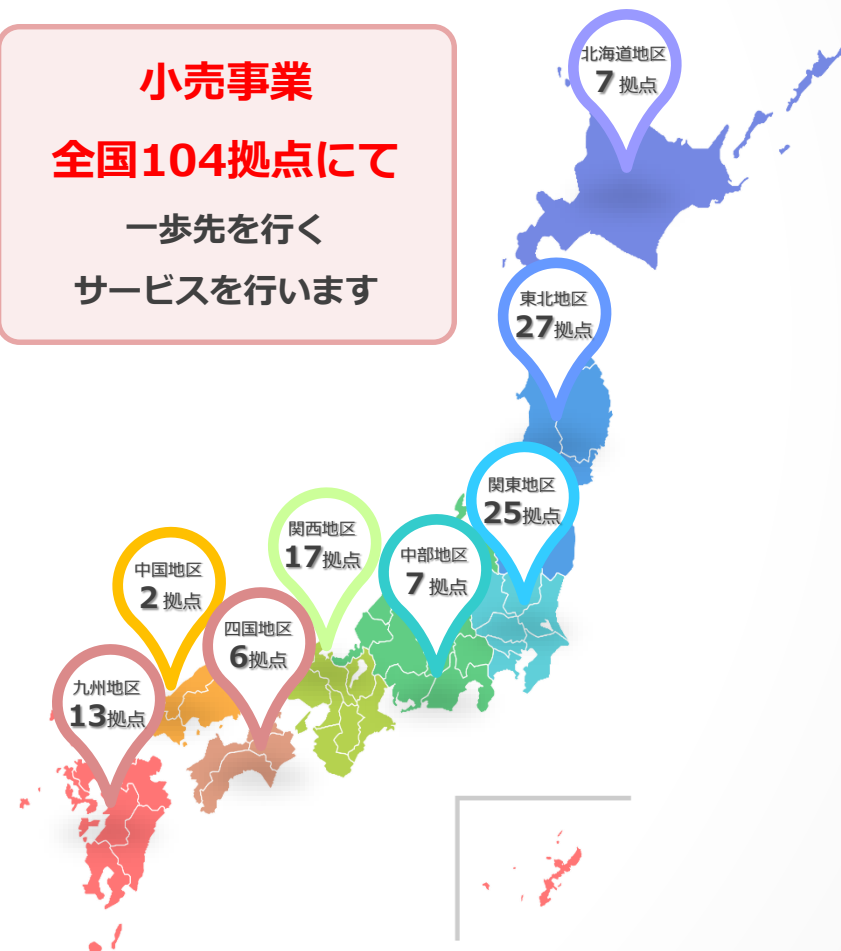
※1 ロータリーレースやスライサーなどの切削機械で切削された単板の繊維方向すべて平行にして積層・接着して造られる木材加工製品です。

※2 Cross Laminated Timber (クロス・ラミネイティド・ティンバー) の略で、欧州で開発された工法となります。CLTは板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことです。

合板、合板二次、建築資材および住宅機器等の小売事業は、全国各地に地域密着型の販売店を有し、建築会社、工務店など現場の需要に迅速に対応いたします。



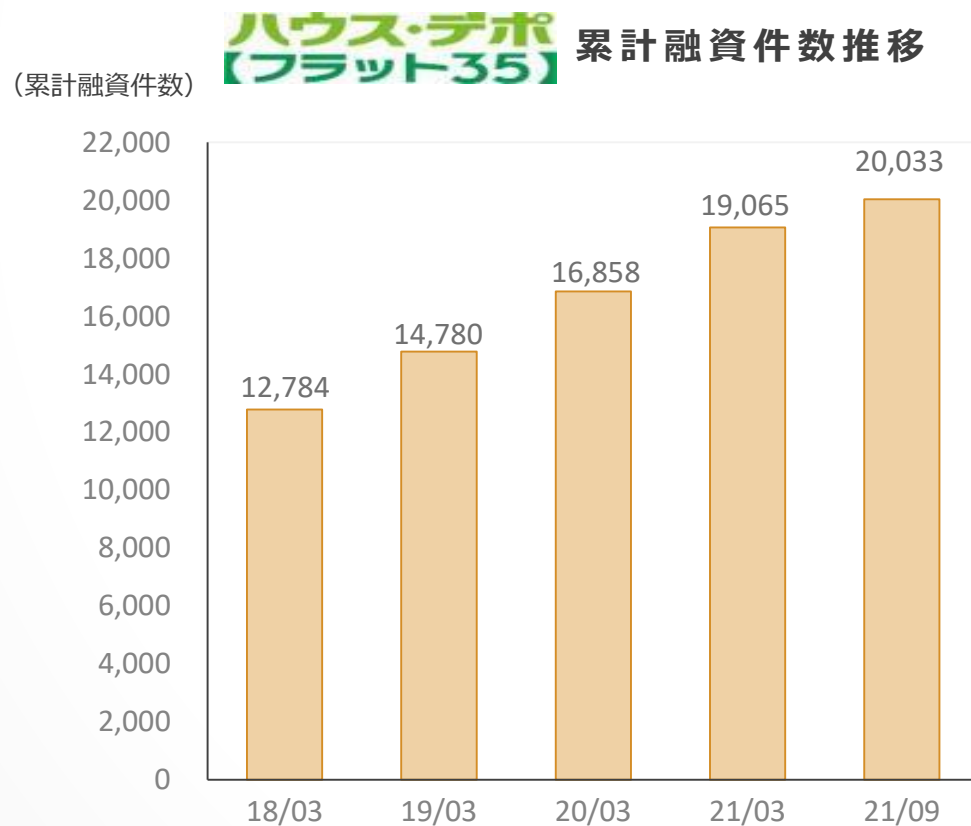
小売事業
全国104拠点にて
一歩先を行く
サービスを行います





株式会社 ハウス・デポ・パートナーズ

（株）ハウス・デポ・パートナーズは、三井物産（株）、JKホールディングス（株）、（株）ハウス・デポ・ジャパンによる合併事業として2007年に設立いたしました。
主に住宅金融支援機構が提供する最長35年の長期固定金利住宅ローン【フラット35】の提供を事業として行っております。



金利が変わらない安心でお得なローン
と
住宅取得に役立つ情報のご提供で
地元の工務店さまを応援しています。



株式会社 ハウス・デポ・ジャパン

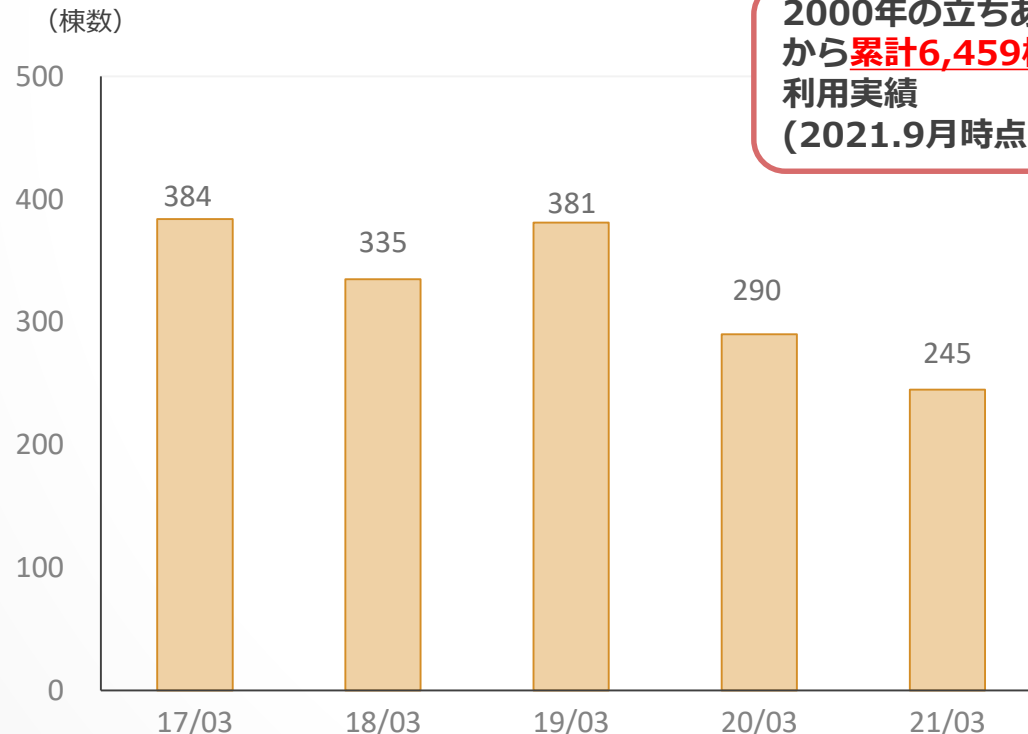


（株）ハウス・デポ・ジャパンでは、お施主様向けのサービスとして住宅完成保証の**ハートシステム**事業を行っております。

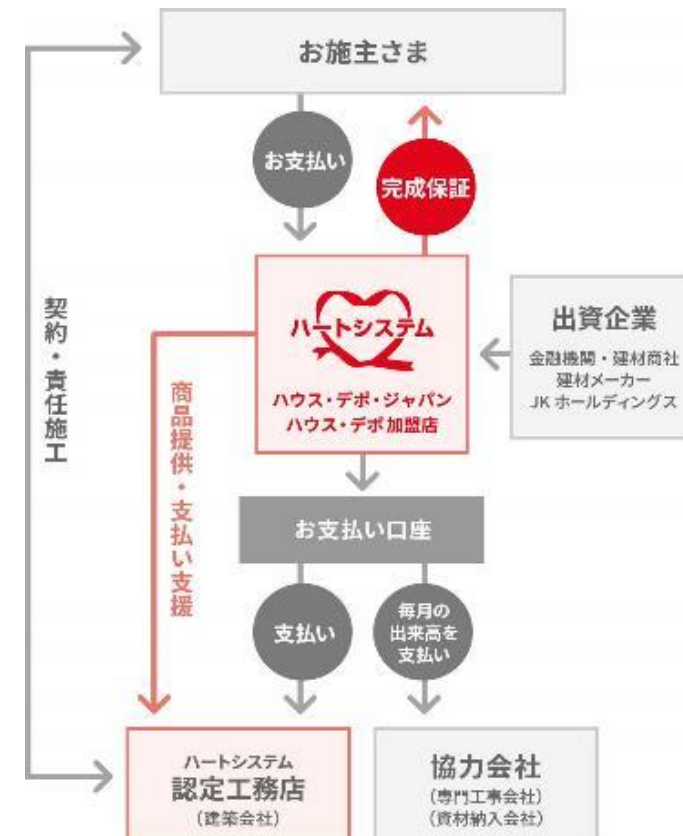
ハートシステムは（株）ハウス・デポ・ジャパンが運営する住宅完成保証です。

（株）ハウス・デポ・ジャパンは多くの支援企業に支えられ、加盟販売店と一体となりお施主様からの建築資金をお預かりし、協定工務店と協力業者の支払いを支援しています。

ハートシステム契約利用棟数推移



2000年の立ちあげから**累計6,459棟**の利用実績
(2021.9月時点)



JK ホールディングス・プレミアム優待倶楽部

株式保有数に応じた **株主優待ポイント** を進呈

保有株式数	進呈ポイント
300株～599株	★ 3,000ポイント
600株～999株	★ 5,000ポイント
1,000株～1,999株	★ 10,000ポイント
2,000株以上	★ 20,000ポイント



ポイント引換商品のイメージ

※2020年3月末の配当より変更しています。

※毎年3月末日の株主名簿に記載または記録された3単位（300株）以上ご所有の株主様を対象にしています。



JKホールディングス株式会社